

ひめじ *Himeji*

令和6年度全会計予算を可決

令和6年第1回姫路市議会定例会の概要

- ・ 2月15日から3月19日まで34日間開催
- ・ 本会議では22人が質問（代表質疑8人、個人質疑14人）
- ・ 令和6年度一般会計予算などの議案58件を
原案どおり議決、請願1件を不採択

議会に関するご意見・お問い合わせ

姫路市議会事務局 〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

TEL 079 (221) 2035 FAX 079 (221) 2028 Mail gik-chosa@city.himeji.lg.jp



第1回定例会

代表質疑



録画中継を視聴できます。

2月26日、27日、28日の3日間にわたり8会派の代表質疑を行い、6年度予算や災害対策、まちのにぎわい創出などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。



市政

姫路に住みたいと思えるよう

人口減少による影響は。

問 労働力人口の減少による地域経済の規模縮小や経済成長率の低下、バス運転手や介護人材等の不足による生活上の利便性の低下、地域の担い手不足、空き家等の増加による防災面などの生活環境への影響に加え、税収の減少などによる財政状況の悪化、公務員の不足による行政サービスの低下が懸念される。

姫路に住んでみたいと思える魅力ある施策展開は。

答 人口減少社会に対応したまちづくりを進めるためには、人口の減少幅を緩和するため、人口の減少を抑制させるための施策を一層充実させる必要がある。子育て環境の

充実や子育て世代の経済負担の軽減に取り組むほか、移住定住支援策の充実など、人口の社会増を目指していく。

また、市外から人口を呼び込むとともに、市外への流出を防ぐためにも、まちのにぎわい創出やスポーツ施設・レクリエーション施設の整備、教育環境の充実、芸術や文化の振興など「まち」としての総合力を磨き上げていく。

一方で、人口減少自体は避けられないため、人口減少に適切していく取り組みを緩和策と両輪で進める必要がある。今後の行政運営は、人口減少を前提とし、未来から逆算して、今行うべき施策やその優先順位を決め、実行していく「バックキャスト思考」に基づき、今なすべきことを果敢に行っていく。



予算

将来に負担を残さないよう

6年度予算の特徴は。

問 活力ある姫路を創造するための施策に積極的に予算を配分した結果、一般会計および全会計の予算規模は、ともに過去最大となった。

一般会計における経常的経費は、こども医療費の完全無償化や児童手当・児童扶養手当の拡充等により、前年度比38億円増の1985億円で過去最大となり、投資的経費は、手柄山JＲ新駅周辺整備や手柄山中央公園再整備の進捗、学校体育館の空調整備等により、前年度比85億円増の376億円となった。

将来にわたる基金の積み立て状況や長期財政収支見込みの公表、説明が必要では。

答 本市の財政は、引き続き厳しい状況が続くと考えられるため、新たに公共施設整備基金を設置し、今後の公共施設整備に必要な財源を積み立てる。また、予算の収支不足を補うため、財政調整基金から40億円を取り崩すが、緊急時に活用する貴重な蓄えであ

議員名 (会派)	主な質疑・質問内容
宮下和也 (公明党)	人口減少による行政サービスへの影響／事業見直しの市民周知／带状疱疹ワクチン接種費用の助成／手柄山中央公園整備基本計画／能登半島地震発生からの教訓／新・姫路市立高等学校
駒田かすみ (市民クラブ)	市長の所信表明／リーディングプロジェクト／令和6年度予算 (ふるさと納税・事業見直しなど)／防災 (液状化・トイレ・DX・防災行政無線など)／教育／人権と個人情報保護／市民の市政参画
石堂大輔 (自由民主党)	防災対策／DXの取組／公共施設の在り方／働き方改革／救急医療・在宅診療／学校づくり／英語特区／駅周辺の喫煙所設置／新美化センター／ユニバーサルツーリズム／姫路城マラソン
大西陽介 (日本維新の会)	中央卸売市場の活性化に伴う賑わい拠点整備／道の駅整備計画／市立高校の跡地利用／空き家対策／A I搭載防犯見守りカメラ設置／姫路港ターミナルエリアリニューアル工事／児童相談所開所
萩原唯典 (新生ひめじ)	所信表明～人口減少社会に挑む／能登半島地震を受けて／子育て支援と少子化対策／変化する農業／2025年に向けた観光戦略／体育館のエアコンの設置／災害に強い水道事業／所有者不明土地対策
妻鹿幸二 (姫路無所属の会)	将来に負担を残さない財政運営について～公共施設等総合管理計画の推進～特別史跡姫路城跡区域の問題／災害関連死を減少させる対策～事前防災対策の重要性／安心して子育てしやすいまちづくり
金内義和 (志政会)	活力ある姫路を創造する市政について／命をたいせつにする市政について／防災対策について／くらしを豊かにする市政について／一生に寄り添う市政について／職員の確保と人材育成について
坂本学 (改革無所属の会)	姫路市立3校統合校の進捗状況と課題について／離島の福祉と介護について／ふるさと納税収支の改善について／地域防災計画と水防計画について／地方創生の現状と今後について

り、今後も標準財政規模の10〜20%の規模を維持していきたいと考えている。

行財政改革プラン2024に、普通会計ベースの財政収支見通しを掲載している。プラン策定時には、行財政改革に取り組まない場合、4年度に10億円の収支不足を見込んでいたが、行財政改革に取り組んだ結果、実質収支は58億円の黒字を確保できた。

同プランは6年度が最終年度であるため、今後、直近の決算見込みを踏まえ、基金も含めた財政収支見通しを作成し、市民への説明責任を果たしていきたい。



能登半島地震を受けて

問 本市の防災対策について見直すべき点は。

答 被災地では、道路や水道等のライフラインの復旧、トイレ対策、2次避難など災害対策や被災者支援に係るさまざまな課題が生じており、本市においてもこれらの課題への対応について、今後の国・県等の動きを注視しつつ、必

要に応じて地域防災計画等に反映していく必要があると認識している。



被災地へ給水車を派遣

問 避難所内での災害弱者への対応は。

答 男女共同参画や、子どもや高齢者、障害者など配慮が必要な災害弱者の視点に立った「避難所運営のポイント」の冊子を作成し、自主防災会の防災訓練や出前講座等で配布し、周知を図っている。

また、避難所内で配慮が必要な人の個別スペースについても、学校施設等の会議室や教室を活用し、確保に努める。

問 災害時用の発電機や水を循環利用する装置の導入は。

答 電力については、市内2地区のコミュニティ防災倉庫や備蓄倉庫等に保管している可搬式発電機や各指定避難所に配備している蓄電池で対応

するほか、電力会社や協定業者に発電機や給電可能な車両の支援を求めるとしている。

また、水資源については、浄水場等からの運搬給水や貯水槽からの拠点給水などで飲料水等を確保するほか、市内業者と飲料水等の提供について協定を締結している。新技術を活用した装置なども調査研究していく。

ライフラインの確保を

問 上下水道事業における今後の耐震対応は。

答 水道事業では、姫路市水道ビジョンにおいて、基本目標を「強靱」「安全」「持続」とし、特に「強靱」に重きを置いた取り組みを進めている。施設については、新甲山浄水場の建設を最優先に取り組み、その他の施設は規模の適正化を図りつつ、被災時に影響が大きいと見込まれる施設から再整備を実施していく。

管路については、甲山幹線をはじめとする基幹管路の更新に優先して取り組み、その他の管路については、AIによる水道管の劣化診断も活用しながら、11年度末までに、

基幹管路耐震適合率を4年度末の33・2%から42・5%へ向上させる計画である。

下水道事業では各処理場・ポンプ場施設、緊急輸送路下の管渠や処理場に直結する幹線管渠などをリスク評価により優先順位を付け、適切な対策手法を組み合わせた「姫路市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、効果的に改築や耐震化を実施している。

有識者や公募市民からなる懇話会の意見も参考に、施設の耐震化や老朽化対策等を危機管理上の最重要課題として検討を進めている。

問 耐震化事業の財源確保は。

答 5年度は法令によるものや市独自の施策として、管路の耐震化事業に一般会計から約13億円を繰り入れた。

今後も国の基準や市独自の施策を検討した上で、関係部局と協議していきたい。



市場を活性化して観光拠点に

問 にぎわい拠点施設の整備に向けた課題は。



施設見学で地域交流

答 新中央卸売市場周辺に整備予定のにぎわい拠点施設は、市場の活性化や「播磨地域の食の拠点」づくりを進める上で必要不可欠な機能であるが、物価高騰の影響により投資意欲が慎重な傾向であるため、社会経済情勢を注視しながら、民設民営を前提に今後の方針を慎重に検討している。

課題としては、場内事業者との意見交換において、市場の特性や魅力を最大限に生かすため、市場との連携やより多くの事業者が参画できるような具体的な仕組みづくりが不可欠であることを確認している。

問 市場のにぎわいづくりとして企画するイベントは。

答 5年11月に、地域交流の一環として施設見学の受け入れを行ったほか、12月に試験

的な取り組みとして「市場店舗見学会」を開催し、市民が市場見学や買い物を楽しんだ。5年度は、開場後間もないこともあり、「市場まつり」や「市場市民感謝デー」など、これまで開催していたイベントは実施できなかったが、場内事業者から6年度こそ開催したいとの強い思いを聞いており、市も開催に向けて協力していく。

なお、5年度に、にぎわい拠点施設用地の一時的な造成を行っており、市場関係者による暫定的な活用が可能となった。今後、場内事業者や地元、周辺施設と連携したイベントなどでの暫定活用についても検討する。



公共交通

鉄道の利便性向上に向けて

問 手柄山JＲ新駅周辺の住民が安全に安心して暮らせるための対策は。

答 新駅の開業により多くの人々が駅に往来することになることから、駅前広場と隣接する家屋のプライバシー保護を目的とした目隠しフェンス

の設置や、自由通路や駐輪場等には、防犯対策として、施設を管理するためのカメラの設置を計画している。

引き続き、住民の意見を聴きながら、8年春の開業を目指して整備を進めていく。

問 的形・西飾磨・京口・仁豊野駅のバリアフリー化の進捗状況は。

答 西飾磨駅と京口駅は高架駅であるため、構内にエレベーターを設置し、的形駅と仁豊野駅は、両側改札によるバリアフリー化を計画している。いずれの駅も6年度から設計に着手し、7年度には工事を実施できるよう取り組む。

問 8年度以降に着手予定の駅のバリアフリー化は。

答 段差が残る亀山駅と山陽天満駅のバリアフリー化に向け、今後、鉄道事業者と整備手法について検討を進め、早期実現に努めていきたい。



観光

夜のにぎわいで滞在型観光へ

問 Himemiji大手前通りイルミネーションの効果は。

答 歩行者の通行量を調査し

たところ、姫路城三の丸広場で行われていた「鏡花水月」の影響もあり、開始後約20日間は約2倍の通行量があったが、その後は数%の増加にとどまっている。

また、宿泊客数の増加につながる効果は出ていないが、宿泊者からは好意的な声を多くもらっていると聞いている。

問 イルミネーション終了後のにぎわい創出は。

答 最終日の2月29日から、姫路城内堀の石垣や櫓等へのライトアップを開始し、夜のにぎわい創出や魅力づくりを継続していく。

なお、イルミネーションについては、多方面から好意的な意見が多く寄せられていることから、今後も継続的に実施し、姫路の冬の風物詩として定着させ、滞在型観光の推進を図っていく。

また、「鏡花水月」の終了後に、大手前通りの北側エリアへの回遊が減っているため、北側に目指すべきスポットや、にぎわいを創出するイベントを企画する必要があると考えている。6年度は、家老屋敷跡公園や大手前公園のライトアップ、SNS映えするスポットの増設、大手前通りの一

部での歩行者天国の実施を検討している。

歩行者天国については、まずは期間中の数日間、にぎわい創出のイベントと併せて企画・実施し、効果の検証と課題の抽出を行いたいと考えている。



白漆喰が映える白色ライトアップ



市立高校

活気ある学校生活に向けて

問 統合新設校の教育内容や特色は。

答 8年度に開校する統合新設校では単位制を導入し、生徒一人ひとりの興味・関心にあった科目を選択できる教育課程を展開する。また、変化の激しい社会に対応していく

力を養うため、探究学習を重視した教育課程を進めていく。

問 統合移行期間の部活動運営、教職員の配置、授業カリキュラムはどうなるのか。

答 部活動については、合同練習や大会への合同出場など、生徒などの意見を尊重しながら、活力ある部活動を進められるよう検討を進める。

教職員の配置については、生徒数が減少することに伴い、教職員の定数も減少するが、可能な限り加配に努める。

カリキュラムについては、統合新設校における取り組みを前倒し実施するなど、学習内容の充実に努める。

問 市立高等学校つながらプロジェクトの内容や効果は。

答 6年度は、探究学習合同発表会の実施、部活動の交流戦等を行う。

本プロジェクトは6年度から始動するが、段階的に拡充することで、3校のつながりを徐々に強くし、交流を深め、一体感を育んでいく。また、多様な生徒が交流することで新たな気づきや発見が生まれ、学びを充実させることができると考えている。併せて、これから進学を目指す中学生等へのPRを進める。

第1回定例会

個人質疑



録画中継を視聴できます。

2月29日、3月1日の2日間にわたり個人質疑を行い、14人の議員が新美化センターの整備計画や公共施設の適正化、教育施策などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

保健

妊娠に関する正しい知識を

問 プレコンセプションケア

(※)の取り組みと周知は。

答 市内全中学校への思春期出前授業に加え、5年度からは、高校生や大学生にプレコンセプションケア事業を実施している。「はたちの集い」会場ではPR動画を配信し、若者への周知を図った。

今後は、20代の社会人にも対象を広げ、プレコンセプションケア健診を導入するなど、妊娠前の男女が将来の妊娠や出産に備え、より自身の健康に向き合ってもらえる取り組みを進めていく。

思春期世代には、学習用端末などの活用も含めた情報発信を検討する。市民や企業向

けには、さまざまな媒体により情報発信していく。
※プレコンセプションケア：将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み



こどもの未来健康支援センター「みらいえ」にも展示

子宮頸がん撲滅へ

問 HPVワクチンのキャッチアップ接種(※)対象者の

接種率と最終期限の周知は。

答 5年12月末現在の累積初回接種率は36・4%である。キャッチアップ接種対象者で3回すべての接種を完了していない人に対し、6年5月ごろを目的に勧奨はがきを個別に送付する予定である。

問 子宮頸がん検診の受診率と啓発は。

答 受診率は、4年度実績で21・9%である。6年度からは、受診率の低い20代に向け、無料クーポン券の送付対象年齢を拡大するほか、未受診者に自己採取HPV検査を案内するなど、受診を促す取り組みを行う。
※キャッチアップ接種：積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人を対象に実施する接種

新たな官学連携を

問 姫路獨協大学内に開設する北保健センターと(仮称)こどもの育み支援センターの役割は。

答 北保健センターは、市北部の保健事業の拠点として機能を拡充し、新たに乳幼児健診などを実施する予定である。加えて、同大学に設置する寄附講座との一体的運用によ

り(仮称)こどもの育み支援センターを開設し、発達相談や検査、リハビリテーションを一体的に提供し、長期にわたるフォローアップを行う。

問 災害時に北保健センターを姫路獨協大学と共同して地域医療拠点とする考えは。

答 同大学は、多数の医療系人材が育っており、設備も整っているため、同大学と新たな連携を進める中で活用することも検討していく。

公共施設

安全確保と市民生活の充実に

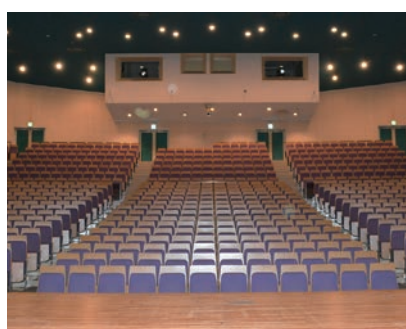
問 公共施設の適正化についての見通しは。

答 人口減少に伴う利用需要の変化や改修・更新経費の将来推計等を踏まえ、財政状況の悪化が予測される中、すべての施設を現状のまま維持することは困難である。スピード感を持って統廃合を押し進め、公共施設の適正化を図っていく。

問 市民会館の今後の方針は。

答 老朽化が著しいため、取り壊しを前提に検討しているが、市民団体や保育園等の利

用は依然として多く、活動や発表の場としてのホール機能は今後も必要と考えている。6年度中に策定予定の個別実施計画において、周辺施設との集約化・複合化を検討し、方向性を示したい。



ホールの利用は多いが機能集約を検討

新美化センター

地域住民の声を丁寧にかけて

問 旧南部美化センターを建設候補地に選定した理由は。

答 市の所有地であるため用地取得費が不要であり、搬出入道路や上下水道などのユーティリティや収集運搬効率などの経済性の項目が他の候補地より高評価となった。また、周辺環境への配慮、合意形成も含めて、総合的にも最も高い評価となった。



きれいに整備された登山道

里山保全

豊かな自然を守るために

問 「地域住民に親しまれ、地域に貢献する施設」とするため、基本計画でどのように検討するのか。

答 廃熱利用やごみ処理発電などのエネルギーの活用方法、災害時にも電力供給ができる防災拠点としての機能も検討する。安全安心で環境に配慮した施設であることに加え、まちづくりの核となるよう検討を進めて行く。

問 住民参加による森林整備の取り組みとその重要性は。

答 「姫路市ふるさと百年の森構想」を策定し、森づくりを市民全体の取り組みと考え、

長期的な視点に立った森林整備等を行っている。

森林整備は、森林所有者だけでなく、森林組合等の林業事業者、民間事業者、ボランティア団体など、市民が参画し、協働しながら、森づくりを進めることが重要である。「的形ふるさと里山会」をはじめとする地域住民による森林整備の取り組みに対しては、ボランティア活動の励みとなるよう、林業体験イベント等において感謝状を贈呈している。

教育

総合的な教育施策の推進を

問 総合教育監の設置目的、採用方法および管轄業務は。

答 喫緊の課題である人口減少問題に向き合い、活力ある姫路を創造していくための原動力であり未来の創り手となる「一人」を育むための総合的な教育施策を迅速かつ高度に推進していくために設置した。高度の専門的な知識経験または優れた識見を有する者を、特定任期付職員として選考により3年の任期で採用した。

総合教育監は、局の枠組みにとらわれることなく、高等教育、生涯現役、少子化対策および子育て支援等に関する事務を取りまとめ、市長部局全体を統括する役割を担うとともに、関連事務について、関係部署に横申を入れていく。

相談者を待たせないよう

問 教育相談員の増員が必要では。

答 5年7月半ばから相談者の待機期間が長くなり始め、12月の時点で相談枠がすべて埋まってしまったため、年度末まで相談を受け付けられない状況である。

そこで、6年度は教育相談員を3人増やし20人とするこ

問 6年度の相談待機期間は。

答 5年度の延べ相談件数は約8000件を見込んでいますが、相談員を3人増員することにより、6年度は延べ約9500件の相談に対応できると想定している。これにより、相談者の待機期間は解消されると考えている。

議員名 (会派)	主な質疑・質問内容
東 影 昭 (新生ひめじ)	北部農山村地域活性化基本計画について/置塩城跡・保存活用計画について/公共交通空白地域へのコミュニティバス導入について/ふるさと納税について/不登校対策・小規模特認校について
下 林 崇 史 (日本維新の会)	まるごとまちごとハザードマップについて/鳥獣被害対策について/安富町などの公共交通空白地域について
嶋 谷 秀 樹 (姫路無所属の会)	手柄山スポーツ施設整備運営事業について/里山保全活動について/姫路市LINE公式アカウントの利用状況について/消防団員の備品の充実について
牧 野 圭 輔 (改革無所属の会)	姫路市立3高校の統合に関する「姫路市長選・高校生ミーティング」における市長発言及び学校用地/小規模特認校の取組状況/姫路市総合教育会議の運営及び総合教育監について
西 村 しのぶ (志政会)	高齢者福祉関連事業の見直しについて/初等中等教育について
阿 山 正 人 (市民クラブ)	手柄山中央公園ースポーツ施設の運営ー姫路球場の活用ー第2期整備計画ー平和資料館の活用策/公共施設の適正化ー市民会館の今後/市道広畑60号線と国道250号の4車線化/アスリート支援
重 田 一 政 (自由民主党)	人口減少社会における姫路市の取組について/スポーツクラブ21への支援について/鉄道駅のバリアフリー化とアクセス強化について/水道の引込みについて/新美化センターについて

さまざまな相談体制を

問 チャットを利用したいじめ相談窓口はあるのか。

答 本市ではチャットを利用した相談窓口を開設していませんが、県が「ひょうごっ子SNS悩み相談」を開設し、SNSを活用した相談を24時間受け付け、即時性のある双方向相談を午後5時～9時に行っている。

本市は、電話や対面による相談を重視しているが、今後県との役割分担も考えながら、相談体制の在り方について検討していきたい。

問 SNSやインターネット上でのいじめ対策は。

答 インターネット上でのトラブルから子どもたちを守るため、希望する学校や地域団体等において、ネットトラブル対策講座を実施している。

地域全体で教育の取り組みを

問 中学校の部活動指導員等の現状は。

答 指導員は13校に13人、非常勤講師は34校に76人、支援ボランティアは12校に16人を配置している。

問 社会人との交流機会でも

ある中学生のトライやる・ウィークの課題は。

答 生徒のニーズに応じた事業所の確保が課題である。6年度からは、事業所バンクを立ち上げ、新たな受け入れ事業所の確保に努める。

問 すべての小中学校に地域コーディネーターが必要では。

答 地域と学校の橋渡し役は必要であると考えますが、持続可能な取り組みとするため、地域の実情や学校のニーズに合わせてコーディネーターの在り方を検討していく。

大規模化の課題解消に向けて

問 山陽中学校で教室数不足のおそれが生じるのはいつごろか。

答 荒川小学校区と城陽小学校区の人口増に伴い、生徒数の増加が見込まれている。このままの状況が続くと、約10年後には教室が不足すると予測される。

問 学校の環境改善など課題解決に向けての考えは。

答 教室改造等により対応しているが、本市は、小中一貫教育を進める中で拠点となる義務教育学校の設置を進めており、新たに城陽小学校を校

地として、城陽小学校区を通学区とする施設一体型の義務教育学校を設置したいと考えている。これにより、9年間のつながりを重視した特色ある取り組みを進めるとともに、山陽中学校の大規模化の課題を解消する。



義務教育学校の設置を検討する城陽小学校

安心して農業を営むために

農業

問 電気柵や集落柵の提供拡

充や購入助成の検討は。

答 鳥獣被害から農作物を守る侵入防止柵の整備については、地域の要望調査を毎年実施しており、近年は助成要件を満たす箇所の整備を計画どおり進めることができています。

議員名 (会派)	主な質疑・質問内容
有馬 剛朗 (公明党)	希望ある共生社会の実現について／事前防災及び減災対策の着実な実行／子宮頸がん撲滅への取組／加齢性難聴の高齢者に対する補聴器購入費の助成／市営住宅共用部分代行管理及び共益費徴収制度
谷川 真由美 (日本共産党議員団)	高齢者福祉関連事業の改悪は止めよー改悪理由ー説明責任／マイナカードの市民カード化の問題／教育相談員の増配置をー児童生徒のプライバシーに配慮した健康診断を／災害対応にジェンダー視点を
三浦 充博 (日本維新の会)	災害時の避難所にもなり得る小中学校体育館の空調設備について／将来的なごみ収集方法について／子どもたちの視点に立ったいじめ対策について
塚本 進介 (改革無所属の会)	「誰一人取り残さない」SDGs社会における教育基盤を創る／「能登半島地震から学ぶ」市役所の人事と組織、外郭団体との連携／「いつまでも姫路城に輝きを」観光産業で稼ぐ意義を考え実践する
竹尾 浩司 (市民クラブ)	市職員の働きやすい職場環境について／JR姫路駅周辺の受動喫煙対策について／図書館運営の在り方について／大規模な小・中学校の課題について／都市計画道路荒川線アンダーパス工事について
中西 祥子 (公明党)	プレコンセプションケアについて／ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症の予防接種について／児童生徒等への学校の健康診断実施の環境整備について
岡部 敦史 (日本維新の会)	新美化センター整備基本計画について／姫路獨協大学の活性化について／姫路市立高等学校の在り方について



高齢者支援

生きがいを感じながら健康に

また、これまでは、国庫補助事業の対象に該当するものに限定していたが、6年度からは、隣接市町を含めた広域的な対策として一体的な整備が必要な場合などは、新たに市単独事業として整備できるよう既存事業を拡充する。

問 柵の設置等のためのボランティアのあっせんは。

答 要望調査などの際に、農業者以外の人々にも幅広く参加してもらえよう働きかけていきたい。

問 高齢者バス等優待乗車助成制度の見直しによる、高齢者の活動量低下への対策は。

答 スマートフォン（スマホ）操作に慣れていない高齢者を対象にスマホサロンやスマホ教室等を実施するデジタル・デバイス対策事業や、フレイル（加齢に伴う虚弱な状態）

を予防するための高齢者向けアプリの導入により、新たな活動の機会を提供していく。

問 高齢者のスマホ購入助成の対象と内容は。

答 市民アンケートの結果によると、スマホでのインターネット利用率は、65〜69歳は75・8%だが、70〜74歳は54・9%と急減することから、スマホの所持率や利用率が低下する70歳以上を対象とし、1人当たり1万円を上限にポイントを助成する予定である。



公共交通

実情に合った移動手段確保を

問 コミュニティバス雪彦のルートの延伸や変更は。

答 地元からの要望が強かった買い物支援策に取り組みため、買い物便として溝口駅までの延伸を計画している。6年度中に社会実験として導入し、地域におけるニーズ等の把握に努め、本格導入に向け

て取り組んでいく。

ルート変更については、利便性向上に向け、地元住民の意見を聴きながら、神姫バスと協議し、検討を進めていく。

問 開発から40〜50年経過した夢前町の住宅地への公共交通の導入は。

答 高齢化等により、バス停までの移動手段確保が問題となっていることは認識している。最適な交通モードが導入できるよう、地元住民の意見を聴き、積極的に検討する。

令和6年度予算審査

3月4日、5日に予算決算委員会（全体会）を開催し、各会計の予算について理事者から説明を受けました。6日から8日および11日に各分科会を開催し質疑応答を行い、議案を慎重に審査しました。14日の全体会で各分科会長から分科会での議論について報告され、19日の本会議で6年度の全会計予算を可決しました。

各分科会での議論から、その一部を紹介します。

総務分科会

問 郊外部に移住した若者世

帯に支援金を支給する「グリーンファミリー制度」の利用者の想定は。

答 一度は本市から転出したものの、結婚や子どもの誕生などを機に、本市郊外部にU

ターンしようとする若者のほか、移住先として豊かな自然環境と利便性の両方を求める若者の利用を想定している。

意見 支援金による経済的負担の軽減だけでなく、移住後の暮らし全般をサポートできるような総合的な移住・定住施策を効果的に行われない。

文教・子育て分科会

問 「いども誰でも通園制度（仮称）」への応募が多数の場合の対応は。また、通常保育における待機児童はどう解

消するの。

答 定員を上回る応募があれば、抽選による決定を考えている。待機児童については、今後も、認可保育所等に定員の拡大を依頼するなど教育・保育の提供体制の確保に努めていきたい。

意見 待機児童が解消されていない状況で同事業を実施するのは課題が多いと思われるが、本格実施に向けてよい制度となるようしっかり取り組みとともに、誰もが希望する保育サービスを受けられるよう引き続き努められたい。

問 不登校児童生徒支援員を全小学校に配置するべきでは。また、学校に行けない児童生徒への支援は。

答 支援員を配置できない学校のうち不登校児童がいる学校には、学生ボランティアを優先的に配置し、校内サポートルームを支援する。今後、全ての小学校に配置できるように予算の確保に努めたい。

学校に行けない児童生徒については、関係機関やフリースクール等と連携を図り、学校以外の居場所も活用しながら不登校対策を進めている。

意見 既存の不登校対策だけでは不十分である。早期に全小学校に支援員を配置できるように予算の拡充に努めるとともに、実効性のある施策は、しっかりと予算を確保して実施できるように取り組まれない。

厚生分科会

問 公民館を利用した多世代交流を促進する取り組みは。

答 Wi-Fiを活用した寺子屋事業やこども食堂など、子どもの居場所づくりにつながる新たな取り組みに活用してもらおうことを考えている。

意見 子どもを含めた地域住民が公民館に愛着と理解を持てるよう、創意工夫による新たな取り組みを有効に活用し、他の公民館にも積極的に周知されたい。

問 放課後等デイサービスの事業所は不足していないのか。

答 事業者アンケートによると「新規利用者を断らざるを得ない」「利用できない人が増加した」などの意見があり、不足していると感じている。

意見 不足の原因の一つは児童指導員など専門職の人材不足と思われるため、人材の参

入や定着の促進等に有効な措置をしっかりと検討されたい。

経済観光分科会

問 食品ロス削減推進事業として新たに600万円を予算計上して行う活動の内容は。

答 市が小売店から提供された食品等を回収し、こども食堂などに寄付しようとするもので、食品等を回収するための車両や保管のための冷蔵庫などの購入経費として計上している。

問 プレミアム付き商品券をデジタル商品券に限定して販売することだが、高齢者対象のデジタル・デバイド対策事業と歩調を合わせた取り組みはできないのか。

答 高齢者がスマートフォンを購入するきっかけとなるようデジタル・デバイド対策事業にも十分に配慮した上で、商品券の購入申込受付期間を設定しており、関係部局と連携しながら取り組んでいく。

意見 プレミアム付き商品券事業の実施に当たっては、デジタル・デバイド対策事業についても併せて説明するとともに、丁寧に周知されたい。

建設分科会

問 地域緑化用草花・樹木・資材配布事業について、高齢化により、草花の植栽が困難となる団体が増えると思われるため、雑草対策として防草シートの配布を検討しては。

答 花壇の管理が困難となる団体に対しては、草花の苗ではなく低木の配布や、花壇を撤去するなど、管理が容易になる方法を検討したい。

意見 これまでと同様の活動が難しくなった花壇などを地域で管理しやすくなるよう臨機応変な対策を検討されたい。

問 播磨臨海地域道路の関連道路に関する予算額とその内容は。

答 予算は約2000万円で、インターチェンジにアクセスするための道路の予備設計を行う予定である。

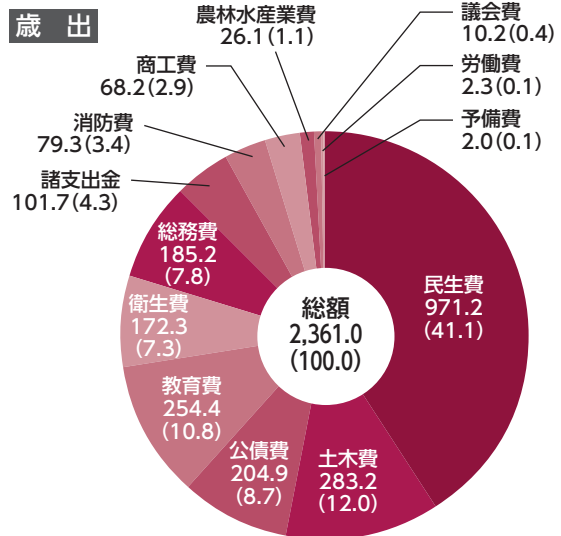
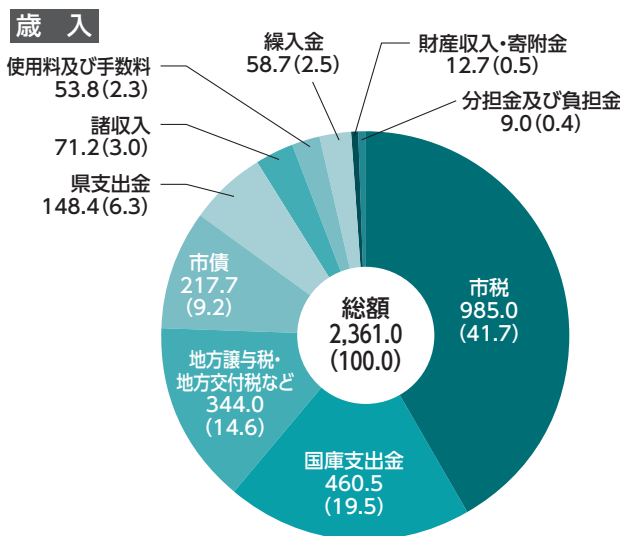
意見 スムーズにアクセスできる道路となるよう、交通量調査等を踏まえ、周辺道路における交通渋滞の状況などをしっかりと把握した上で予備設計に臨まれたい。

令和6年度予算

全会計の予算総額：4,086億円(前年度比4.5%増)

一般会計：2,361億円(前年度比5.5%増)

※単位：億円、()は構成比(%)



可決 特別会計(7会計)：1,135億円(前年度比3.3%増)

可決 企業会計(2会計)：590億円(前年度比3.1%増)

委員会等の活動(1月～3月)

委員会報告

各常任委員会を定例会中に開催し、それぞれ付託された議案や請願について活発な議論を展開しました。

議案が付託された6つの委員会のうち、予算決算委員会以外の委員会の委員長口頭報告から、主要望事項を紹介しします。

※予算決算委員会に付託された予算議案に関する議論はP8～9のとおり

総務委員会

①職員採用試験において、土木職の採用者確保の観点から、大学等からの推薦により第一次試験を書類選考とする大学等推薦特別選考を新たに実施することであるが、若年人口の減少に伴い、人材獲得競争が激化する中、効果的な施策を実施することで、より優秀な人材の確保に取り組みたい。

②能登半島地震の被災地での支援活動の経験は、今後の本市の被災時や他地域への災害派遣の際、必ず生かされると

考えることから、その知見等を他の職員に伝えるほか、詳細に記録に残すことにより、本市の地域防災力の向上につなげていかれたい。

文教・子育て委員会

①津田小学校区における放課後児童クラブの施設整備事業者を募集したが選定に至らなかったため、補助内容の変更や工期に余裕を持たせるなど募集条件を見直し、再募集することであるが、事業者が応募しにくい原因を丁寧に分析し、今後、同様に事業者を公募する際には、新規事業者が参入しやすくなるよう募集条件についてしっかりと検討されたい。

②妊産婦タクシーポンのデジタル化について、同クーポンの専用アプリ内で使用可能なタクシー会社を検索できるようにするなど、妊産婦が使いやすいものとなるよう努められたい。

③学校の防犯対策について、各学校では登下校時を除いて校門を閉じ、地域住民等によるスクールヘルパーが校内を

巡回するなど防犯対策を取っているものの、地域住民の高齢化等によりボランティア活動の継続が難しくなりつつあることから、防犯カメラの設置については、前向きに検討されたい。

厚生委員会

①市立霊苑に係るえい地の永代使用料の還付、施設等の整備、えい地清掃の3事業の資金に充てるための姫路市霊苑基金について、時代の変遷とともに、少子高齢化の進展など社会情勢も大幅に変化することから、定期的な見直しにより同基金運営の適正化を図り、財政健全化に寄与されたい。

②出先事務所の再編を進める個別実施計画について、次期計画の作成に当たり、公共施設の再編整備については、市民生活に急激な変化を及ぼさないよう利便性などにも十分配慮されたい。

また、出先事務所空白地域への対応として、当該地域の郵便局やコンビニエンスストア等と連携する際には、人口減少等による店舗閉鎖の可能性を考慮した上で検討を進め

られたい。

経済観光委員会

①姫路ヤマトヤシキ跡地で民間事業者が建設を進めているマンションの1階部分の分譲店舗を市が取得し、地場産品の販売やユニバーサルツーリズム機能などを備えた多様な観光ニーズに応える交流拠点となる施設を検討していることであるが、新たな財源確保が必要となることから、しっかりと見直しを立てた上で慎重に取り組まれたい。

②ペット火葬施設等からの煙や悪臭によるトラブルが他都市で見受けられることから、市民等の快適な住環境を確保することを目的として制定する姫路市ペット火葬施設の設置等に関する指導要綱について、要綱での対応が困難な事例が生じることとなった場合には、条例化も視野に入れて適切に取り組まれたい。

建設委員会

①放置自転車は、放置禁止区域の指定や駐輪場の整備等の対策により、ピーク時の1日当たり約2000台から、4

年度は約180台まで減少したが、コロナ禍で減少していた自転車利用者が再度増加することが予想されることから、引き続き、放置自転車対策にしっかりと取り組まれたい。

②水道事業における有収率向上の取り組みとして、6年度から、本市を含む県内27の水道事業体が共同して人工衛星を活用した漏水調査を実施する予定とのことであるが、現在進められている水道ビジョンの中間見直しにより水道料金を改定し、市民に対してさらなる負担を求めるのであれば、他市町と共同して実施する同漏水調査についてもしっかりと取り組み、有収率の向上に努められたい。

行政視察報告

議会活動の一層の充実を図るため、先進都市の優れた事業などを視察し、まちづくりに役立てていきます。

建設委員会

1月15日～16日

▽飯塚市・公園等ストック再編計画 ▽久留米市・Park-PIIの取り組み

厚生委員会

1月16日～17日

- ▽那覇市・那覇市動物の愛護及び管理に関する条例 ▽沖縄県・離島・へき地医療の現状と課題等
- 文教・子育て委員会
1月17日～19日
▽旭川市・いじめ防止対策
▽札幌市・休日部活動の地域移行
- 経済観光委員会
1月17日～19日
▽松浦市・「アジフライの聖地 松浦」プロジェクト ▽佐賀市・二酸化炭素分離回収事業
- 総務委員会
1月29日～30日
▽藤枝市・デジタル活用サポート事業 ▽三島市・移住・定住促進事業の取り組み
- 市民クラブ
1月23日～25日
▽佐世保市・三浦地区みなとまちづくり計画 ▽武雄市・市民課窓口業務民間委託、武雄市図書館・こども図書館
▽北九州市・北九州市平和のまちミュージアム
- 改革無所属の会
1月24日～25日
▽松山市・松山市議会基本条例、松山市議会公式YouTubeチャンネルの利用状況、附属機関への議員の就任

の考え方および就任状況、個人・代表質疑時間のルール等
▽宇和島市・海底送水管の敷設替え

■公明党
1月25日～26日

▽田辺市・空き家行政の取り組み ▽有田市・ふるさと納税の取り組み

■自由民主党
1月31日～2月2日

▽桑名市・議会活性化の取り組み ▽岡崎市・脱炭素先行地域事業 ▽東京都荒川区・職員の人材開発

人事（敬称略）

〈副市長〉

井上 泰利

岡本 裕

山田 基靖

〈教育長〉

久保田 智子

〈教育委員会委員〉

森下 果奈

請願

本定例会で結果が出た請願は次のとおりです。

不採択

○高齢者福祉関連事業の見直しについて

議会の動き

■高校生と座談会で意見交換

5年12月22日、26日、27日に高校生と姫路市議会との座談会を開催し、SDGsの促進、不登校児童生徒への支援、男女共同参画の推進、滞在型観光に向けた戦略、空き家対策、高等学校の在り方などについて、意見交換しました。



■LINEで姫路市議会の情報を発信します

「姫路市LINE公式アカウント」では、会議日程や質疑・質問の内容など市議会の情報をお届けしています。ぜひ友だち追加をお願いします。



子育てや災害の情報も受け取れるよ



次の定例会は**6月上旬** 開会予定です

詳しいことは議事課までお問合せください

(☎221-2033)

■情報公開に努めています

7月1日（月曜日）から、ウェブサイトで5年度の政務活動費収支報告書等を公開します。議会事務局でも閲覧できます。

また、ウェブサイトで議会交際費の執行状況を毎月公開しています。5年度の支出明細は次の通りです。



5年度 議会交際費支出明細

種類	件数	金額 (円)
慶祝	0	0
弔慰	8	101,270
見舞	0	0
会費	7	110,000
賛助	3	11,770
謝礼	0	0
接遇	0	0
雑費	2	39,200
その他	0	0
計	20	262,240

〈25年勤続市議会議員〉

永年勤続
議員表彰

宮本 吉秀
(議席番号順)
八木 隆次郎
杉本 博昭
谷川 真由美

提出議案とその結果（令和6年第1回定例会）

提出議案58件のうち、49件については全会一致で可決または同意しました。賛否が分かれた議案とその結果は以下のとおりです。

番号	議案名	結果	会派名								
			公明	市民	自民	新生	維新	姫路	改革	志政	共産
議案第1号	令和6年度姫路市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	※	○	×
議案第4号	令和6年度姫路市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第5号	令和6年度姫路市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第6号	令和6年度姫路市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第47号	姫路市敬老金条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第54号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○
議案第55号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○
議案第56号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○
議案第57号	教育長の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	※	○	○

会派の略称と人数

公明党	公明	8人	姫路無所属の会	姫路	3人
市民クラブ	市民	8人	改革無所属の会	改革	3人
自由民主党	自民	8人	志政会	志政	3人
新生ひめじ	新生	5人	日本共産党議員団	共産	2人
日本維新の会	維新	5人			

※ 賛否には議長(市民クラブ所属)は含まれません。

賛否状況の表記

賛成は「○」、反対は「×」、
除斥は「除」、退席は「退」、
会派内で賛否が分かれた場合
等は「※」と表記しています。

すべての議案の結果および議員ごとの賛否等の状況はウェブサイトでご覧になれます。



姫路市議会議員を紹介します vol.3

市民の皆様の代表である45人の市議会議員を紹介します。今号は次の4人です。

- 質問内容 ①自分の性格は？ ②趣味や特技は？
③市民の皆様へ熱いメッセージを！

白井 義一 議員 (公明党)



①相手の立場になって物事を考えるように努めています。責任感があるが、人に任せるのが苦手かもしれません②音楽、映画、旅行、スマホいじりなど③皆さんから意見や要望を聞くのが好きです。市民の方からの要望実現にこの上ない幸福感を感じます。身近な議員として声をカタチに頑張ります

重田 一政 議員 (自由民主党)



①何があっても前向きな性格です②趣味はゴルフです③一人でも多くの姫路市民に「姫路で生まれた、姫路で育ってよかった、姫路で暮らしてよかった」と言ってもらえるよう一所懸命ひたむきに頑張っています

嶋谷 秀樹 議員 (姫路無所属の会)



①大胆VS繊細②趣味は音楽鑑賞♪(新旧洋邦ファンクロックソウルとジャズ&クラシック)。特技は水泳指導③姫路市民ながら、まちなかに練り出すときは「ひめじに行く」と言っていた、浜手育ちです。トカイナカ(素敵な都会+田舎)を皆様と創っていきたくです

東影 昭 議員 (新生ひめじ)



①私はポジティブな性格だと思います②趣味はスポーツ観戦とドライブです。カラオケが好きで、NHKのど自慢大会にリベンジしたいです③地域の皆さまと協働で、地域活性化に取り組むとともに、市民の皆さまの幸せを願い、お役に立てるよう努力を重ねています